



2022年(令和4年)

11月

No.733 since1961

# 広報 しばた



## プロのアーティストと一緒に 大きな夢を描く

船迫放課後児童クラブでは、秋休みを利用して蔵王町在住の美術家加川広重さんと、約12m×7mの巨大画制作に挑戦しました

完成した作品は、児童劇団AZ9ジュニアアクターズの結成30周年記念公演の舞台美術として披露される予定です。

【10月12日(水)船迫小学校体育館】

【特集】地域を変えるチカラになる

# 地域おこし協力隊の現在地



問まちづくり政策課 Tel.54-2111



「地域おこし協力隊」とは、人口減少や高齢化などが進行する地方において、域外の人材を積極的に受け入れ、住民の要望や地域課題の解決を通じて地域力の維持や強化を図ることを目的としています。

柴田町でも平成27年から地域おこし協力隊の受け入れを始め、延べ7人の隊員が地域の皆さんと連携しながら活動してきました。現在は3人の隊員がそれぞれの目標に向けて活動中です。

今回は、地域おこし協力隊員がどのような活動をしているのか、皆さんにご紹介します。

## 「地域おこし協力隊」これまでとこれから



ひらつか 平塚  
ゆたか 優さん  
(横浜市出身)  
活動開始 令和2年2月～  
活動目標 蕎麦屋の開業

地域おこし協力隊に着任する以前から飲食店などの食に関わる仕事をしてきた平塚さん。着任後は本格的に蕎麦打ちを学ぶため、町内の名店「手打ちそば花いかだ」で修行を行っています。

平塚さんの蕎麦は精進料理の考え方をコンセプトに作られていて「試行錯誤を重ねた、鯉節などを使わない植物性食品のみの精進だ」と、自家製かえしを合わせた精進そばつゆを使用しています」と言います。

今年4月からは、東船迫の間借りカフェ「なすがまま」で、



町内産の蕎麦粉を使った蕎麦打ちイベントなども開催。

週1〜3日、手打ち蕎麦店を出店。その他にも、カフェ&コワーキング kitaiでは月3回程度、蕎麦と得意のタイ料理をミックスした創作蕎麦を提供するチャレンジシヨップもオープン。なすがままではオーソドックスな手打ち蕎麦、チャレンジシヨップでは創作蕎麦と提供する商品の差別化を図り、蕎麦の可能性を模索しています。

また、問借りカフェやチャレンジシヨップで販売する手打ち生蕎麦も徐々に売り上げが伸びてきたそうので、それに比例して「HIRA蕎麦」の知名度も上がってきました。目標の開業に向け着実に前進しています。



最新情報は「HIRA蕎麦HP」をチェック

## 「地域おこし協力隊」これまでとこれから



もりい 亮多さん  
 (八王子市出身)  
 活動開始 令和2年11月～  
 活動目標 農業の担い手

柴田町の農業を盛り上げることで地域の活性化を目指している森井さん。農家の販路拡大のためネットショップ開設・支援のほか、「農業は未経験ですが、畑を借りての野菜作りにも挑戦しています」と話すように、自らも生産者として農業を生業にするため、研修先として下名生ファームで米作りや野菜作りを学んでいます。

また、町の農業に関心を持ってもらうこと目的に、米作り体験や、カーネーションの栽培見学などを開催し、農家と農業に興味を持つ方との橋渡し役に

なっています。特に米作り体験は、普段乗ることができない田植え機やコンバインなどに乗ることができるので、家族連れに人気のイベントです。

一方、自身の畑では珍しい品種のニンジンの栽培に挑戦。種まきの時期や栽培方法による生育の違いを観察し、一番いい育て方を模索しています。9月には少量ですが、直売所での販売も開始しました。

他にも柴田町の農産物をPRするために、店頭販売にも取り組むなどの農業に広く関わり、自分なりの農業での仕事おこしに全力で取り組んでいます。



最新情報は「インスタグラム」をチェック



田植え、稲刈りなど多くの農業体験を開催して農業の魅力を発信。

## 「地域おこし協力隊」これまでとこれから



よしだ けんじさん  
 (会津若松市出身)  
 活動開始 令和3年5月～  
 活動目標 アウトドアショップの開業

小学生から高校生までの10年間を柴田町で過ごし、Uターンで地域おこし協力隊として町に戻ってきた吉田さん。一度町を離れて感じた、周囲に海、山、川が揃い、自然環境に富んでいる柴田町の魅力を、アウトドアを通じて町外に発信し、町を盛り上げる活動に取り組んでいます。

「年齢を問わずに楽しめるアウトドア活動を体験できる環境が柴田町にはあります。どのような楽しみ方があるのかをイベントを通してお伝えできればと思います」と話します。

もう一つ吉田さんが協力隊として力を入れているのが、町のプロモーション活動です。今は首都圏向けの移住キャンペーンサイト内で、柴田町での生活を移住者目線で発信するブログを連載しています。また、みやぎふるさとCM大賞の作品制作や、今、全国のお城で密かなブームとなっている御城印の船岡城バージョンの企画・作成も行いました。御城印は柴田町観光物産交流館さくらの里で購入することができます。

幅広く活躍している吉田さんですが、目標であるアウトドアショップの物件の選定も進みゴールが見えてきました。



最新情報は「アウトドアズマンHP」をチェック



普段はテントを張ることができない柴田町太陽の村でのデイキャンプは人気のイベントです。

# 令和4年度上半期の 予算執行状況をお知らせします

町の財政運営の状況を広く町民の皆さんに知っていただくため、令和4年度上半期（4月1日から9月30日まで）の執行状況をお知らせします。

予算に対して歳入歳出それぞれの執行額と執行率の状況は、歳入が71億4,117万円で46.4%、歳出が64億5,305万円で41.9%となっています。

問 財政課 TEL55-2278

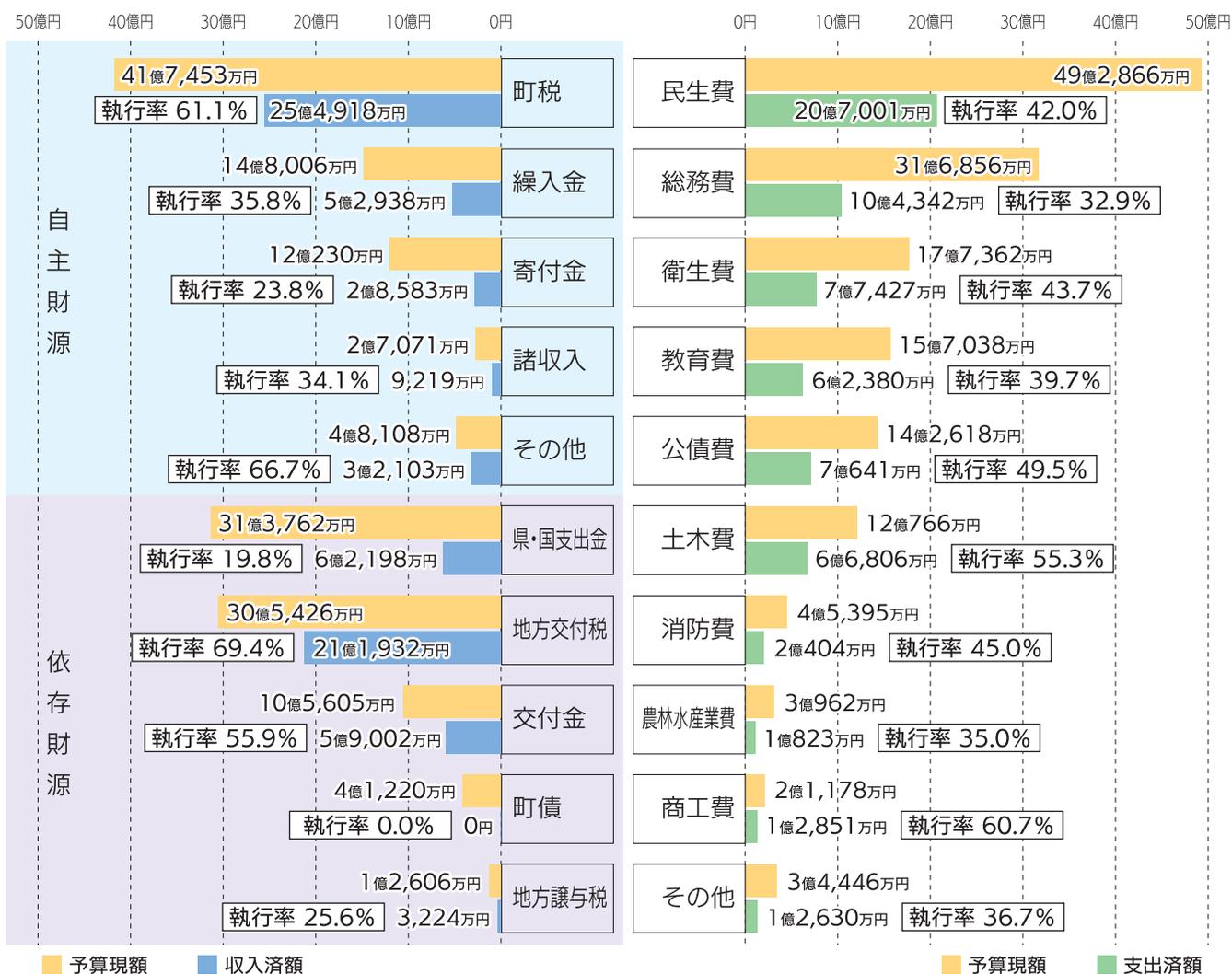
## 一般会計の執行状況

**歳入** 収入済額 **71億4,117万円** (執行率 **46.4%**)

町民1人当たりの収入額 **19万3千円**\*

**歳出** 支出済額 **64億5,305万円** (執行率 **41.9%**)

町民1人当たりの支出額 **17万4千円**\*



\*令和4年9月末の人口(37,013人)で算出

## 特別会計の執行状況

区 分	予算額	歳 入		歳 出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	40億9,248万円	17億3,762万円	42.5%	15億6,749万円	38.3%
介護保険	32億5,043万円	16億7,458万円	51.5%	13億 751万円	40.2%
後期高齢者医療	4億6,838万円	1億6,686万円	35.6%	1億6,097万円	34.4%
土地取得	4,973万円	4,973万円	100.0%	2,449万円	49.2%

## 基金の状況

基金名	9月末現在高
財政調整基金	15億1,102万円
ふるさと柴田応援基金	6億7,988万円
スポーツ振興基金	6億4,173万円
町債等管理基金	3億5,741万円
図書館建設基金	3億2,485万円
学校給食センター建設等整備基金	3億1,193万円
学校教育施設整備基金	1,161万円
森林環境譲与税基金	1,030万円
健康つながり基金	683万円
科学学習振興基金	504万円
高額療養費貸付基金	398万円
さくら基金	309万円
特色のある教育活動支援基金	151万円
防災基金	99万円
国保財政調整基金	3億7,901万円
国民健康保険健康づくり基金	590万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円
介護給付費準備基金	2億9,583万円

## 公営企業会計の執行状況

### ●水道事業会計

収 入	予算額	収入済額	執行率
収益的収入	13億1,195万円	6億6,182万円	50.4%
資本的収入	7,860万円	0円	0.0%

支 出	予算額	支出済額	執行率
収益的支出	10億7,243万円	2億9,567万円	27.6%
資本的支出	6億7,804万円	1億9,969万円	29.5%

### ●下水道事業会計

収 入	予算額	収入済額	執行率
収益的収入	12億 960万円	4億7,700万円	39.4%
資本的収入	14億8,037万円	2億6,889万円	18.2%

支 出	予算額	支出済額	執行率
収益的支出	11億6,461万円	1億6,966万円	14.6%
資本的支出	18億1,773万円	3億1,154万円	17.1%

## 財産の状況

財産種別	9月末現在高
土地	3,327,139㎡
建物	14,974㎡
有価証券	1,569万円
出資による権利	40億8,242万円

※過去の異動による反映分を含む。

### 主な取得資産(増)

出資による権利：みやぎ県南中核病院出資金  
1億1,759万円

年々若者の公務員離れが進んでいると言われている。実際に柴田町においても人材の確保が難しくなってきました。

公務員人気は低下する要

因として一般的に言われているのは、一つに、待遇が格段に良い民間企業が多くなってきたこと。二つに、キャリア官僚のサービス残業の常態化が報道されるなど、公務員はサービス残業が多いというイメージがあること。三つに、悪質なクレームや迷惑行為、いわゆるカスタマーハラスメントがあり、ストレスを抱えやすい職場だと認識されていることなどがあります。

就職すれば一生心安泰だと言われた公務員は、もはや若者にとってはそんなに魅力的な職業に映っていないのかもしれません。

こうした若者の公務員へのイメージの変化を踏まえ、町では社会人にも職員への門戸を開き、多様な人材を確保するため、多くの民間企業が利用しているSPI方式による採用試験を導入しました。この試験は特別な公務員試験対策がいらないことから、今年の上級職の募集に、全国から100人を超える応募がありました。このSPI方式では仕事の処理能力や公務員に向い

## 新たな人材の確保

ているかの適正検査を行い、これらを参考に最終選考を行うこととなります。社会人でも受験しやすくなりましたので、是非多くの方に受験してもらい、民間企業などで働いてきた経験やスキルを町民のため、町の発展のために生かして欲しいと願っています。

今、地方自治体は時代の変化の前に厳しい対応をせまられています。人口減少による地域社会の活力の低下、頻発する自然災害への対策、一人暮らし高齢者への支援、新型コロナウイルス感染症への対応など、公務員の業務は高度化・複雑化し、仕事量も増えるばかりです。もはや「遅れず、休まず、働かず」といった世間でいうお役所仕事のイメージは全くありません。

柴田町がこうした現状を乗り越え、新たな役所に生まれ変わっていくためには、これまでの常識、前例、慣習にとらわれない、多様な考え方ができる人材やコスト意識や柔軟な発想を持った人材が是非とも必要です。

一度きりの人生を民間の仕事から公務員の仕事へと転職した職員には、公務員になろうとした初心を忘れず、早く公務員生活に慣れ、スキルを研ぎ、公務員のプロとして活躍してくれることを期待しています。

## しばた歴史探訪

### 第18回 柴田町の鎌倉時代

今回は大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」にちなんで、柴田町の鎌倉時代を概観します。

源頼朝が、平氏を壇ノ浦に滅ぼしたのが文治元(1185)年。次いで、平氏打倒の立役者弟義経の追討を口実に、東北地方を支配していた平泉の奥州藤原氏を攻めました。

文治5(1190)年8月11日、頼朝の軍勢は、奥大道(鎌倉から奥州に向かう街道)を北上し船迫に宿営します。前日に阿津賀志山(福島県国見町)に築かれた防塁を突破し、敗走する大将藤原国衡を大河原町金ヶ瀬の高山神社辺りで討ち取りました。船迫ではその首実検が行われたのです。首実検では討ち取る前に国衡に矢を射かけて傷を負わせたのは自分であると和田義盛が申し出て、その主張が国衡着用の鎧の検分によって確かめられました。船迫は、そのような劇的なエピソードの舞台でした。

その後、破竹の勢いで進軍した頼朝の軍勢は早くも22日には平泉を征圧。東北は頼朝の支配下に入り、葛西、北条、三浦、足利、安達などの関東の有力武士の一族が地頭として配置されました。

このお話は、鎌倉幕府が残した正式な記録「吾妻鏡」に記されています。

他にも、大光院所蔵の鉄造阿弥陀如来座像(文永3(1266)年)などの貴重な文化遺産が、わが町には残されています。

問しばたの郷土館

TEL 55-0707



大光院所蔵の鉄造阿弥陀如来座像



## 健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ96

第96回のテーマは、

### 「オーラルフレイル予防」です。

高齢になって心身の活力（筋力や認知機能など）が低下した状態を「フレイル」といい、多くの人がこの段階を経て要介護状態になるといわれています。その前で「オーラルフレイル（ささいな口の機能の衰え）」の症状は現れます。固いものが食べにくい、むせる、食べこぼす、滑舌が悪い、舌が回らないなどの症状が続くようであれば、それはオーラルフレイルの可能性がります。

早めに気づき対策することで、予防・改善することができます。

### オーラルフレイルを予防するお口の体操

#### ○パタカラ体操

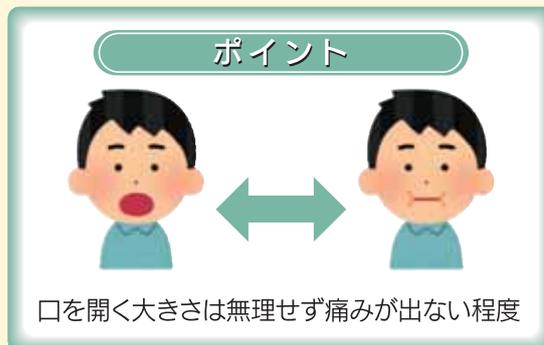
「パ・タ・カ・ラ」と発音することで、口や舌の動きをスムーズにする体操です。唇やほほ、口周り、舌の筋力がアップし、唾液がよく出るようになり、舌が滑らかに動いて食べ物が飲み込みやすくなります。

- ①「パ」…唇をはじくように
  - ②「タ」…舌先を上の前歯の裏につけるように
  - ③「カ」…舌の奥を上あごの奥につけるように
  - ④「ラ」…舌をまるめるように
- 各発音を8回、1日2セット行います。

#### ○開口訓練

飲み込むパワーをつける体操です。飲み込みに関する筋力をアップすることで、食事中の「むせ」などの症状改善につながります。

- ①ゆっくり大きく口を開けて10秒間保持する
  - ②しっかり口を閉じて10秒間休憩する
- 1日2セット（朝・夕）行います。



#### 歯科衛生士からのアドバイス

口は、食べる、話す、笑うなど日常生活に欠かせません。かかりつけ歯科医で定期的に口や歯の健康状態を診てもらい、いつまでも口や歯の健康を保ちましょう。

図 健康推進課 TEL55-2160

14

海の豊かさを  
守ろう



## 私たちとSDGs 連載14

問 まちづくり政策課 TEL54-2111

### ゴール 14. 海の豊かさを守ろう

海に流れ込んだプラスチックごみが海を汚染し、地球規模の問題となっています。

2050年には海洋プラスチックの量が海にいる魚の量を超えるとされており、海の生き物がプラスチックを食べることによる生態系の破壊、魚を食べる私たちへの健康被害などが心配されています。ごみのポイ捨てをしないことはもちろん、プラスチック製の袋や容器などを使わず、マイバッグやマイボトルを携帯するなどの取り組みが大切です。

# まちかど NEWS



泥だらけになりながら一生懸命さつまいもを掘りました。



収穫したさつまいもは、焼き芋やふかし芋にして食べる予定です。

## おおきなさつまいもたくさんとれたよ

10月14日(金)、第二たんぼ幼稚園の畑で、たんぼ幼稚園、第二たんぼ幼稚園の園児がさつまいもを収穫しました。

たんぼ幼稚園の志子田千鶴ちゃんは、「さつまいもを洗ったら紫と赤になってきれいだなと思いました」と話してくれ、第二たんぼ幼稚園の遠藤太智ちゃんは「大きいさつまいもがとれてすごく嬉しかったです」と話してくれました。

## 柴田かたりべの会活動25周年

NEWS

9月28日(水)、柴田かたりべの会が活動25周年を記念した冊子の発行の報告に役場庁舎を訪れました。

柴田かたりべの会は平成9年3月に発足。町内の民話や口碑伝承を研究し、次世代へ語り継ぐことを目的に保育所や小学校、福祉施設などで民話の会を開いてきました。

柴田かたりべの会、鳴海雪子さんは、「子どもたちには昔の出来事を伝え、お年寄りの方には昔を懐かしんでもらえるよう活動を続けていきたいです」と話してくれました。



記念冊子は各生涯学習センターなどに設置しています。

広 告

広 告

## あそびのワンダーランド

10月8日(土)、船迫公民館  
であそびのワンダーランド  
が開催されました。

木のおもちゃで自由に遊  
ぶことができる木育広場や  
絵本の読み聞かせの会おむ  
すびころりんの皆さんによ  
る読み聞かせ、ボードゲーム  
おもちゃ病院などの多様な  
遊びのコーナーに多くの親  
子が訪れました。

参加された方は、「広いス  
ペースで自由におもちゃで  
遊ぶ機会はなかなか無いの  
で、親子で楽しませてもら  
いました」と話してくれました。



グット・トイに選ばれたおもちゃで遊びました。

## 3年ぶりのバンドフェスタ

10月2日(日)、柴田町太陽  
の村を会場に第20回バンド  
フェスタinしばた開催されま  
した。

新型コロナウイルス感染症  
の影響で2019年以來の開  
催となったバンドフェスタ。  
柴田町の町並みを背景にした  
ステージで参加バンドが熱い  
パフォーマンスを披露しまし  
た。また、今年は20周年とい  
うこともあり、前日には前夜  
祭も開催されました。

バンドフェスタに訪れた方  
は、「天気も良く外で音楽を聴  
くにはとても良い雰囲気だ  
した」と話してくれました。



太陽の村にバンドサウンドが帰ってきました。



多くのごみが集まりました。

## 陸上自衛隊船岡駐屯地の皆さんが地域をきれいに

9月30日(金)、陸上自衛隊  
船岡駐屯地の現役隊員で構成  
される修親会、曹友会、自衛  
官OBなどで構成される隊友  
会の皆さんが、駐屯地近隣の  
住民の方と一緒に、ポラン  
ティア活動として町内のごみ  
拾いを行いました。

「普段から地域活動をされて  
いる隊友会の皆さんと一緒に、  
我々が日頃からお世話になっ  
ている柴田町に少しでも恩返  
しができればと思います」と  
述べられました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

川柳

俳句

<p>松手入れ込み入る枝葉を切り払い 整う松は庭に引き立つ 榎木 平間 三郎</p> <p>埼玉で二階に届く花の名を 皇帝ダリアと初めて知るや 船岡 可沼 妙子</p> <p>誕生日いくつになっても特別な日 ノンアルビールで日々に乾謝 西船迫 下浦 智子</p> <p>老夫婦して余る程生きてこの先も 二合の米研ぐ音静か 船岡 伊藤タイ子</p> <p>もつれつつあざなうごとく舞い昇る 紋白蝶二頭光にとけゆく 船岡 つかのめけいこ</p> <p>心中に余生望みを託すれば 社会の仕え出来ぬことなし 船岡 大沼 英一</p>	<p>中秋に敬老祝辞書面にて 彼岸花スマホ片手に「はいチーズ」 榎木 永井 貞子 北船岡 日下 功</p> <p>寒くなり金木犀のいい香り 船岡 阿部美代子</p> <p>夕日背に手を取り散歩の老夫婦 船岡 大沼 英一</p> <p>孫たちに「片付けなさい」即「イヤだ」 四日市場 鳥井崎</p>	<p>都草都のはずれに群れて咲く 枸杞熟るる貝殻道を踏みゆけば 船岡 可沼 妙子</p> <p>白鳥のV字飛行の揺るぎなし 齋藤 善則</p> <p>初霜や汽笛ひときは「一輛車」 鈴木 三山</p> <p>ゆるびたる足裏のしびれ冬はじめ 鈴木 清子</p> <p>海原へ続くきざはし石路の花 鈴木 幸子</p> <p>柿落葉地は曼陀羅の色模様 峠 三枝子</p>	<p>葡萄の香こころほんのリジヤム作り ぬばたまの三日月さえて稲穂を照らす 西船迫 佐藤 厚子 四日市場 鳥井崎</p> <p>秋の山紅葉日増しに色映える 榎木 平間 三郎</p> <p>コスモスや揺らしたる吾子笑いんぼ 飛鳥</p> <p>秋匂う枯葉に虫が夏を惜しむ 船岡 安藤 節子</p> <p>穂田のコンバイン跡水濁り 西船迫 安ヶ平奈津枝</p> <p>秋深しコスモスの花みだれ咲き 榎木 加藤 マサ</p> <p>虫時雨おてつないで孫娘と 船岡 沢田 順子</p>
<p>新天地移った孫の通知表 「あいさつがよい」よかつたよかつた 四日市場 鳥井崎</p> <p>世の中は他人のミスは大げさに 自分のミスは小さく思う 西船迫 安ヶ平良三</p> <p>お彼岸に孫は一緒に墓参り 御先祖様に「来年またね」と 本船迫 森田 真六</p> <p>酔芙蓉朝は純白夕は紅 一日花なり一日一生のごと 船岡 沢田 順子</p> <p>歌を添い赤き鬼灯絵手紙に 描いて送れば友喜ばす 榎木 白石 光子</p> <p>ページめくり好きな童謡弾いている 歌いながらも雨降りの午後 西船迫 星 裕子</p>	<p>秋雲と舞たけ栗弁(当) 金木犀 榎木 村上 紫寿</p> <p>つらい時良い句が出来て立ち直り 西船迫 安ヶ平良三</p> <p>秋休み?昔はなかつた新言葉 船岡 小林 夢子</p> <p>国葬で総理の椅子も葬るか 西船迫 三澤 精一</p>		

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで11月14日(月)までご応募ください。 岡 まちづくり政策課 TEL.54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

## 我が校の学力向上の取り組み

船迫小学校では、児童一人一人の学びの実態を把握し、頑張っている部分を褒めることをどの授業でも大切に、「分かった、できた」と実感できる授業づくりに取り組んでいます。また、学力の基礎は、健康な心と体が土台となることから、体力の向上を目指し運動の楽しさや喜びを感じさせる体育の授業を実践しています。

## 基礎・基本の確実な定着を目指す「迫小プラン」

4月の町学力調査では、国語の「書くこと」の分野で3つの学年が、全国平均を5点以上上回る成果を上げています。調査の結果を検証して児童のつまずきを把握し、頑張っている部分を褒め、一人一人の能力に応じた学習の充実を図っています。

また、朝の会の前のぐんぐんタイム（読み・書き・計算学習）と朝読書も継続し、児童の基礎学力の確実な定着を図りさらなる飛躍につなげてまいります。

## 学びの向上につなげる「運動の日常化」

運動の楽しさや喜びを感じさせる「運動の日常化」にも取り組んでいます。業間時間や昼休みの「外遊び」を奨励し運動する機会を確保しています。また、全学年の取り組みとして、業間マラソン、短なわのぴょんぴょんタイム、学級ごとの長なわチャレンジなども行っています。昨年度は、全クラスが県教育委員会主催の「宮城県 Web 長なわ跳び大会」に参加し、6年2組が宮城県で第1位となりました。

また、陸上や駅伝大会など近隣の大会に向け自主的に練習する児童も増え、各種大会で数多くの児童が入賞しています。6月の全国小学校陸上競技大会地区予選では、リレーで優勝し県大会に出場も果たしました。

スポーツを通して仲間と協力する心を磨き、記録に挑戦し達成して喜ぶ児童や、仲間のために練習のサポートをしたり、応援したりする児童がたくさんいることが船迫小の誇りです。これからも、勉強にスポーツに、「夢に向かって」挑戦する船迫小をみんなで創っていきます。



学級全員で長なわ跳びにチャレンジ

〔船迫小学校長 鎌田 孝悦〕

柴田町  
Shibata Town

## 柴田町 LINE 公式アカウント

イベントや防災・防犯情報など、  
生活に役立つ情報をお届けします。

二次元コードを読み取り、友だち追加してください。

問まちづくり政策課 Tel.54-2111



広 告

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。

## 思いを胸に Vol.106

### 一步先を見据えた仕事を心掛けています

株式会社 エコー設備工業

清野の 真司さん (25歳)

今回は、建設工事・設備工事などを幅広く手掛ける(株)エコー設備工業の清野真司さんを紹介します。



清野さんは、高校で建築設備を学び、その面白さに触れ、仕事としてもっと勉強したいと思い(株)エコー設備工業に入社しました。

入社直後は設備工事の作業員として現場で働いていましたが、2年目から給排水設備工事などの現場管理や工程管理を任されています。また、未経験ながら上司の指導の下、工事の設計図面の作成にも携わっています。

複数の業者が同時に携わる建築現場では清野さんの現場管理の仕事がとても重要で、「円滑な工事のため、業者間で現場に入る順番や作業内容などの打合せは必須です。管理者間で共有しても稀に作業員の方に伝達がなされていないなどのトラブルもあるため、打合せの決定事項をその場で確認、作業の前日に関係者で確認、当日朝にも作業予定の確認と三本立てでチェックすることを心掛けています」と話します。

今まで多くの現場を経験してきた清野

さんですが、特に印象に残っているのが白石斎苑の建設で、「普段見ることの無い設備や技術、業種の方と関わりながら仕事ができて、とても勉強になりました」。

また仕事をする上で大切にしていることを伺うと、「先輩方に、職人や作業員の方の作業を止めないように、現場管理は常に一步先の仕事を予測して動くようにと教えられました。そこは常に意識するところです」と話します。

今後の目標については、「あと1年経験を積みれば1級管工事施工管理技士の受験資格が得られるので、今はその資格取得を目指しています」と話してくれました。最後に、「建物を造る仕事は、ゼロからさまざまな技術を持つ人の力が集まり形になっていくのが魅力です。私はやりたい仕事に携われ、また良い会社に恵まれたと感じています。ぜひ一緒に働く仲間が増えてくれると嬉しいですね」と話してくれた清野さん。これからも頑張ってください。



設計図面と現場の施工状況を照らし合わせている清野さん。



株式会社 エコー設備工業  
柴田町西船迫3丁目3-140  
TEL87-8745

昭和54年設立(本社白石市)。  
土木・建設工事、設備工事などを幅広く手掛ける。柴田町指定給水装置および排水設備指定工事事業者。  
従業員86人(本社含む)

人口と世帯数  
(令和4年10月1日現在)



37,013人  
(前月比24人減)



18,440人  
(前月比23人減)



18,573人  
(前月比1人減)



16,221世帯  
(前月比1世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。

特集

地域を変えるチカラになる  
地域も「」協力の現在地

2022年11月1日(733)号 発行/西宮市柴田町 編集/まちづくり政策課  
〒989-1692 宮城県柴田郡柴田町西船迫中央2丁目3番45号 ☎0224-54-2111  
FAX 0224-55-4172 URL https://www.town.shibata.miyagi.jp/